



5年生 人権発表「生きることの詩」

今回のハートアップは12月に5年生が発表した人権学習の内容を紹介します。

5年生は、「生きているということ」をテーマに学年で一つの詩を作り、発表をしました。詩を作るにあたり、谷川俊太郎さんの「生きる」という詩を活用し、生きているとはどういうことか、今生きているとはどういうことなのか、一人一人が自分自身と向き合い、自分の「生きているということ」について考えを深めました。今回の学習を経て、これからも5年生は生きていることを大切に過ごしていきます。1～4年生、6年生のみなさんにもこれからの生活の中で、生きていることの素晴らしさをたくさん感じてもらいたいです。5年生の発表がみなさんのこれからの生活につながったらうれしいです。

人権学習の様子



各学年の振り返り

1年生

- ともだちとあそんでたのしいときも、ともだちとけんかしてかなしいときも、生きているってことなんだとおもいました。まいにちをたいせつにしたいとおもいました。
- きゅうしょくをたべるとき、ともだちとあそぶときに、生きているとおもいました。学校でみんなといっしょにいれることがうれしいからです。

2年生

- 「生きる」っていいことばだなと思いました。「生きる」ということばを大切にしないといけないんだなと思いました。
- わたしは、えがおで、すなおに、生きたいと思います。さいごまであきらめず生きたいです。
- 生きているというこおは、きせきなんだなと思いました。生きているからいろいろなことができるんだなと分かりました。

3年生

- ぼくは、今生きていることが幸せです。1人1人生きている幸せってちがうんだなと思いました。
- わたしが、生きているから、友達や家族を幸せにできると思います。

4年生

- 「ご飯を食べる・ゲームができる・学校へ行ける」ことが生きていることだと感じました。そして、それはあたりまえのことではないと思いました。
- 生きることは幸せなことだと思いました。辛いこともあるけど、楽しいこともあるから頑張れると思いました。

5年生

- 私たちが生きていることは奇跡だし、それぞれ好きなこと、苦手なことがあるので、生きていることを大切にしてほしいです。
- 生きることは、いつか「死」がある。だから限りある人生を大切にしたいと思った。

6年生

- 生きているってすばらしいな、ほこらしいなと思いました。これからも「生きる」を存分に味わいながら過ごそうと思いました。
- 悲しんでいる人、苦しんでいる人達のために、全力で生きていこう、何かしていこうと心の中ですごく強く思えました。